

通し番号	3969
------	------

分類番号	15-4B-12-09
------	-------------

(成果情報名) アオキ‘湘南ひこぼし’‘湘南おりひめ’の育成	
[要約] 農総研育成のアオキ2系統‘湘南ひこぼし’‘湘南おりひめ’は、葉身長11~14cmの長楕円形の細葉で、浅黄色の散り斑が入る鑑賞価値の高い系統である。特に雌木は、3~4月にかけて濃橙赤色の実がなり、観賞性は高い。	
(実施機関・部名) 神奈川県農業総合研究所 生物資源部	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

アオキは日本在来の常緑低木樹で、バラエティに富んだ斑入りの葉、鮮やかな赤い実は観賞性が高く、古くから庭木として親しまれている。また、耐寒性、耐陰性に優れることから、ビルの谷間の日陰地や屋内などで観葉植物的な利用も増加している。そこで、当所で育成を行ってきた散り斑で細葉の2系統について特性調査を行い、品種特性等を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1 育成経過

‘湘南ひこぼし’は、1985年に‘細葉アオキ(青葉)’に‘龍福寺’を交配し、樹勢、葉色、葉の大きさ等に優れる雄木を選抜した。また、‘湘南おりひめ’は、1980年に‘細葉アオキ(青葉)’に‘ホシヤドリ’を交配し、同じく樹勢、葉色、葉の大きさ、実の色等に優れる雌木を選抜した。

2 特性

‘湘南ひこぼし’

樹姿は開張性で、樹高は約1.5m前後である。葉は、葉身の形が長楕円形、葉身長は14cm、表面の色は暗黄緑で浅黄色の散り斑が入る(表1)。花は、花径9.2mm、花高3.3mmの灰赤色で、1枝当たりの花数は85.6花とやや多めである(表2)。開花期は4月上旬で、1~2週間開花する。

‘湘南おりひめ’

樹姿は開張性で、樹高は約1.5m前後である。葉は、葉身の形が長楕円形、葉身長は11cmとやや‘湘南ひこぼし’より小さい。表面の色は暗黄緑で、浅黄色の散り斑が入る(表1)。花は花径8.8mm、花高6.0mmの赤褐色で、1枝当たりの花数は12.6花とかなり少ない。開花期は‘湘南ひこぼし’と同じ4月上旬で、1~2週間開花する(表2)。また、3~4月にかけて濃橙赤色の実が、1枝当たり2.6個程度結実する(表3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 庭木としての利用と共に屋内などで観葉植物的な鉢物の利用も期待される。
- 2 品種登録出願申請中。

[具体的データ]



図1 ‘湘南ひこぼし’



図2 ‘湘南おりひめ’

表1 育成系統および対照品種の葉の特性

品種名	葉身の形	葉身長(cm)	葉身幅(cm)	表面の色	斑のタイプ	斑の色
湘南ひこぼし	長楕円形	14.3	3.7	暗黄緑(3508)	散り斑	浅黄(2504)
湘南おりひめ	長楕円形	11.0	3.1	暗黄緑(3509)	散り斑	浅黄(2504)

色の表現は日本園芸植物標準色票による。()内はカラーチャートの番号。

表2 育成系統および対照品種の花の特性

品種名	雌雄	花径(mm)	花高(mm)	花色	1枝当り花数
湘南ひこぼし	雄	9.2	3.3	灰赤(0419)	85.6
湘南おりひめ	雌	8.8	6.0	赤褐(0710)	12.6

色の表現は日本園芸植物標準色票による。()内はカラーチャートの番号。

表3 育成系統および対照品種の実の特性

品種名	形状	長さ(cm)	径(cm)	実の色	1枝当り実数
湘南おりひめ	楕円形	1.5	1.0	濃橙赤(0707)	2.6

色の表現は日本園芸植物標準色票による。()内はカラーチャートの番号。

[資料名] 平成15年度試験研究成績書(花き・観賞樹)

[研究課題名] アオキ新育成品種‘湘南ひこぼし’‘湘南おりひめ’の主要な特性

[研究期間] 平成15年度(昭和62年~)

[研究者担当名] 原 靖英